

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより



平成30年4月2日 第62号

付替道路関連工事の状況

平成29年3月から鋭意進めてきた「和田6工区他工事」、「西ノ入1工区他工事」の付替林道工事については、平成30年3月に完成しました。

工事期間中は工事用車両の通行に際し、地域の皆様をはじめ関係者のご理解とご協力をいただき、無事に進める事が出来ました。

本年度も新たな付替県道工事や付替林道工事を実施いたしますので、ご協力をお願いします。

なお、付替県道では、今後一部区間の供用開始を予定しています。具体的な時期が明確になりましたら、改めてご案内いたします。



付替林道和田6工区他工事
【工事着手時状況(平成29年6月)】



付替林道和田6工区他工事
【工事完成状況(平成30年3月)】



付替林道西ノ入1工区他工事
【工事着手時状況(平成29年6月)】



付替林道西ノ入1工区他工事
【工事完成状況(平成30年3月)】

『第18回生態系保全委員会』を開催しました ～環境保全の取り組み～

当建設所では、「思川開発事業生態系保全委員会」を設置し、学識者・専門家より指導・助言等をいただきながら環境保全に取り組んでいます。

今年の委員会では、当建設所よりオオタカの代替巢での繁殖や幼鳥の巣立ち、ムカシヤンマの移殖に向けた環境整備の取り組みなどについて報告したほか、工事の進捗状況を踏まえた希少動植物等に対する環境保全活動について審議等を進めていただきました。

今後も本委員会でもいただいた指導・助言等を活かしつつ、適切に環境保全対策に努めていきたいと考えています。委員会の資料や議事要旨については、当建設所ホームページに掲載しています (<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/kankyo/iinkai.htm>)。



第18回思川開発事業生態系保全委員会の様子
(平成30年3月22日)

環境学習会を開催しました

3月23日、鹿沼市の方々を講師として招き、「森林資源の循環と森林整備の推進」というテーマで環境学習会を実施しました。

鹿沼市は、6割以上を森林が占めているまちです。持続可能な森林管理のシステム構築等により、平成28年に森林認証(経営の持続性や環境への配慮等の基準に基づき森林を認証する制度)を取得しました。鹿沼産材の普及と需要拡大のため、森林認証材で作成した木のおもちゃを赤ちゃんに贈る事業や東京オリンピック選手村への木材提供にも取り組んでいるそうです。

環境学習会を通して鹿沼市の継続的な森林資源の活用に向けた取り組みについて、理解を深めることができました。



環境学習会の様子

再発見！鹿沼の魅力（第7回）

「300本桜」と「1000本つつじ」が織り成す大パノラマ『せんじゅさん千手山公園』

鹿沼市役所近くに位置する千手山公園では、4月上旬～中旬に約300本の桜が見頃となり、小高い山がピンク一色の見事な景観となります。公園内には観覧車等の遊具が整備されており、ご家族連れで楽しめる公園となっています。

今年は4月8日(日)まで「千手山公園さくら祭り」が開催中で、祭り期間中はライトアップされた夜桜も楽しめます。

※さくら祭りの最新情報については「鹿沼観光だより 四季彩の町かぬま 最新情報」をご覧ください。
(<http://www.kanuma-kanko.jp/news.shtml>)



夕暮れ時、満開の桜と観覧車(平成30年4月1日)

栃木県内の地元かるたを用いて、

様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。

引き続き、『^{しもつけ}下野かるた』(栃木県文化協会発行)からの紹介です。

《やしおつつじは県の花》

今号は下野かるたより、栃木県の花「ヤシオツツジ」をご紹介します。

ヤシオツツジは日光国立公園を中心に、県内の山岳一帯に見られるツツジ科の落葉低木です。花の色がピンクの「アカヤシオ」、純白の「シロヤシオ」、濃い紅紫の「ムラサキヤシオ」があり、いずれも4月中旬から5月上旬にかけて枝先に花をつけます。

鹿沼市にある横根高原の井戸湿原でも、もうすぐ見頃を迎えるようです。これからの新緑の季節、ヤシオツツジを見に行かれてはいかがでしょうか？



思川散策

〈思わず行きたくなる思川〉を発見する「思川散策」。

今回は茨城県五霞町のこぶしの大木をピックアップ!

春のおとずれがここにも 五霞町・中の島公園

茨城県と千葉県の県境、渡良瀬川が利根川に合流する辺りに位置する五霞町山王ごかまちの中の島公園では「こぶしの大木」が春の風物詩となり毎年多くの観光客で賑わいます。

100年を越える樹齢により、近年では保全対策が必要となるなど一層貴重な景色となるかもしれません。対岸に位置する千葉県立せきやどじょう関宿城博物館では、利根川の治水の歴史を紹介しており、近くの関宿水閘門すいこうもんからも利根川の発展を目で感じることができます。こぶしの開花は3月下旬から4月初旬にかけて。是非利根川の流れとともに春を感じてみてはいかがでしょうか。



3月初旬、まだ芽吹きめがひの兆ししるしもありませんが、10メートルを越える巨木は壮観です。

ダムの豆知識 7

インフラツーリズムとダムカードをご存知ですか

インフラツーリズムとは、公共施設やダムなどの土木構造物を対象としたツアーを称したもので、インフラそのものが地域固有の観光資源として注目され始めています。インフラツーリズムは全国各地で実施されており、ダムを管理する国土交通省、水資源機構などでは、ダムを訪れた方を対象として「ダムカード」を配布しています。全国のダムカードを集めることによって、水源地域へと足を運んでいただき、ダムのことをより知っていただければ幸いです。なお、水資源機構で配布しているダムカードは45施設あり(平成30年3月末現在)、その一覧は水資源機構のホームページでご覧いただけます(<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/tourism/damcard/index.html>)。

上南摩の動植物

和名：フクロウ（フクロウ科）

分布：ユーラシアの温帯から寒帯に広く分布し、日本では九州以北に留鳥（渡りなどの季節的な移動を行わず、一年中ほぼ同じ地域にすむ鳥）として分布します。

○栃木県：準絶滅危惧（Cランク）

個体数は多くありませんが北海道から本州、四国、九州にかけて分布する留鳥。低地、低山帯から亜高山帯にかけての様々なタイプの樹林に生息し、特に大きい樹木のある落葉広葉樹林や針葉樹と広葉樹の混交林を好みます。

夜行性で林縁（森林の、草地や裸地に接する部分）や下枝の少ない樹林などで採食します。繁殖期は3～5月頃、一夫一妻で繁殖します。栃木県では平野部から山地帯の森林、大径木のある社寺林や屋敷林などに生息していますが、多くはありません。昨年、環境保全地で夜間、池に設置した止まり木にとまり、池で採餌する成鳥が確認されました。



平成29年4月7日撮影

人事異動

4月の組織改編で、調整課が新設されました。

副所長、課長の人事異動は以下のとおりです。

転入

副所長	三好 久雄(本社ダム事業部より)
副所長	佐々木 敏生(日吉ダム管理所より)
調整課長	浅井 崇(思川開発建設所工務課より) ※内部昇格
第一調査設計課長	島本 重寿(本社ダム事業部より)
環境課長	梶谷 隆志(徳山ダム管理所より)
工事課長	山口 和好(長良川河口堰管理所より)

転出

小島 幸康(旧吉野川河口堰管理所へ)
徳添 桂一(利根導水総合事業所へ)
佐野 貴之(総合技術センターへ)
赤松 芳彦(木曾川水系連絡導水路建設所へ)
佐藤 隆徳(日吉ダム管理所へ)

編集後記

今年もまた、別れと出会いの季節がめぐって参りました。今年度も新しいメンバーとともに、思川開発事業を進めて参ります。

お知らせ

- ▼思川開発建設所では、現場案内を随時開催しています！詳しくはお電話またはHPをご覧ください！
- ▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

T e l (0289) 85-1110 F a x (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omogawa/index.htm>

思川開発

検索